



代表取締役  
**栗本 保男**

介護・治療用食品の製造工場における生産性・収益性の向上を図るため食品工場管理運営のプロを獲得。

## 株式会社栗本五十市商店(大竹市)

### Before

プロ人材採用のきっかけ

卸売主体だった介護・治療食事業において、開発・製造部門の比重を高めるために、業績不振に陥っていた生産工場の立て直しを図る必要があった。そのため効率化・収益率アップを実現できる経験者を求めた。

### After

採用後の変化・効果

食品製造工場の工場長を経験しているプロ人材を採用。確かな生産計画のもと、生産量の安定化が売上のアップにつながるとともに、食材ロスの減量も実現。社員の意識を含め高効率化が確実に図られつつある。

## 開発・製造事業を強化するため工場の立て直しを委ねる人材を確保。

介護・治療用食品の製造・卸・販売を主な事業として成長を遂げてきた栗本五十市商店。本格的高齢化社会の到来、さらには増え続ける生活習慣病への対応が求められる中、「薬でも、医師でもない。病気は食べて治すのが一番」という栗本保男社長の信念のもと、近年は、自前で商品を開発・製造し患者に届ける事業に注力していく考えを示していた。そんな中、子会社として設立していた食品製造会社が業績不振に陥り吸収合併。赤字運営が続いていた工場の立て直しを急ぐ必

要があった。生産効率の向上、さらには収益の改善など課題山積の工場運営を任せられるプロ人材の獲得をめざし、取引銀行から紹介されたプロフェッショナル人材戦略拠点に相談した。



## モノづくりのプロとしての 豊富な経験と熱意に社長も意気投合。

希望した人物像は、工場管理に必要な条件として機械に強いこと。そのうえで食品関係の製造工場で働いた経験があればベスト。人材紹介会社が推した3人の候補者の内、最終的に栗本社長が面接したのが書類審査で絞り込まれた1人だった。

その経歴は栗本社長の希望したまさにその人だった。「大手電子機器製造会社の量産ラインの工程管理を経験」「中国の現地法人工場での品質管理・製造管理を経験」「食品製造会社で工場長を経験」「新工場の立ち上げを経験」など、抜群の経歴の持ち主だった。何よりも決め手



となったのは、本人の意気込みだった。「私を採用しろ」と言わんばかりの熱意に栗本社長の心は決まった。

## 工場運営に活気。 次なる戦略の基礎固めへ。

美和工場（山口県岩国市）の工場長として迎えたプロ人材。採用の効果はすぐに売上の数字となって現れた。売上アップは生産量の向上が何より寄与している。これまで、良い月があっても、それが長続きすることはなかった。そこが平均的に上がってきているのを「工場の生産が安定してきた証」と社長もうなずく。また、生産計画がしっかりしてきたのが食材ロス的大幅な減量に現れているという。大きな赤字を抱えていた工場の運営も徐々に解消されてきた。

また、毎日の朝礼が職場の雰囲気をはらりと変えた。そこで社員の希望や不満を吸い上げた新工場長は、必ず3日以内に回答しているという。「工場みんなが一緒に仕事をしている活気が以前と全然違う」ことを社長も実感。さまざまな変化を工場の成長と手放しで喜ぶ。「これから



はどんどん若い人に出てきてもらって、若い人同士で議論して、いい会社にしてもらいたい」。一人のプロ人材の獲得から開けた未来。東南アジアの国々で糖尿病患者が増えている状況に対し、開発した治療食を現地に投入したいと願う栗本社長。そんな会社の積極策にますます拍車がかかる。

### 企業プロフィール

海岸線に広がるコンビナートに象徴されるように、企業の街大竹にあって、その工場向けに給食を供給する業務を主体とし昭和21(1946)年に創業した栗本五十市商店。すぐに病院向けの治療食の販売事業に着手。業績を伸ばしていった。

近年は生活習慣病向けの治療食に着目するとともに、さまざまな病態に合わせた独自の商品を開発し製造する。特に力を入れるのが低たんぱく質の食事療法を必要とする方向への治療食だ。これには低たんぱく質と減塩が重要となるため真空調理の技術で対応。「いくら健康にいいといっても、そもそも美味しくないと誰も見向きもしない」と試行錯誤を重ねるなかで、商品開発を進めていった。

東南アジアなど海外にも目を向けるこの分野で躍進していくためにも、生産の拠点として工場の役割は大きい。プロ人材によりスタートした改革にますます期待が集まる。



#### 【株式会社栗本五十市商店】

代表者 代表取締役 栗本 保男  
資本金 1,500万円  
従業員数 86名(2019年3月現在)  
本社所在地 広島県大竹市晴海2丁目10番45号  
TEL 0827-57-7233  
URL <http://www.isoiti.co.jp>